

2019-21中期経営計画のKPIと進捗

森永乳業

健康・栄養

「かがやく笑顔」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
健康寿命延伸に対する貢献	栄養機能性素材を取り入れた商品の市場投入	●メモリービフィズス記憶対策ヨーグルト、inPROTEIN、ビヒダスK F等の機能性表示食品、健康に貢献する商品を複数発売
	健康維持に寄与する栄養機能性素材についての情報発信	●健康維持に寄与する大腸に関する知識や栄養機能性素材についての情報発信・啓発活動の拡大 ●健幸サポート栄養士セミナー※事業のさらなる推進（シニア向け、女性向け健康セミナー等プログラムの拡充） 2020,2021年度合計で約18,000名が健幸サポート栄養士セミナーに参加。 ※健幸サポート栄養士セミナー：健康に関する研究の中で培われた情報を、特別な栄養士である「健幸サポート栄養士」がわかりやすくお届けする健康セミナー
乳幼児の健やかな成長への貢献	ビフィズス菌（M-16V）の提供。 国内外で120以上の施設での提供継続	●「ビフィズス菌M-16V」のNICU（新生児集中治療室）など国内外で150以上の施設での提供継続

環境

省エネルギー、廃棄物削減に取り組みながら安全・安心な商品を製造し、サステナブルな社会づくりに貢献します。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
生産部門を中心としていた環境活動を、連結対象会社全部門に拡大	ISO14001認証事業所： 2030年度までに連結対象の全事業所で取得	●認証事業所数：34事業所（2022年3月31日時点）
	2021年度までにグループ全体でスコープ1、スコープ2を把握	●国内生産事業所のスコープ1、スコープ2について第三者保証を取得
生産における環境負荷削減	CO2排出量原単位削減： 2021年度までに2013年度比8%削減 2030年度までに2013年度比20%削減 2050年度までに2013年度比80%削減	●2013年度比20.0%減
	食品廃棄物発生量原単位削減： 2021年度までに2013年度比30%削減	●2013年度比35.0%削減
	産業廃棄物排出量原単位削減： 2021年度までに2013年度比33%削減	●2013年度比35.1%削減
	埋立廃棄物量削減： 2021年度までに年間排出量300t未満 2030年度までにゼロ	●年間排出量273t
	用水使用量削減： 2021年度までに年間使用量2013年度比9%削減	●2013年度比8.7%削減
サプライチェーン全体の環境負荷削減	2021年度までにスコープ3の15中6カテゴリ算定	●全15カテゴリについて算定方法を検討し、10カテゴリの算定ルールを決定 ●その他の5カテゴリ（スコープ1および2に含まれる1カテゴリ、および本業との関連が低い4カテゴリ）についても評価を実施
環境に配慮した容器包装の使用促進	容器包装リサイクル法対象プラスチック容器包装の重量： 2013年度比10%減	●2013年度比15.2%減

2019-21中期経営計画のKPIと進捗

森永乳業

人権

人権に配慮した事業活動を行い、多様性を尊重し、あらゆる人々が能力を十分に発揮できる環境をつくります。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
ステークホルダーとの対話による人権課題の特定と対策	ステークホルダーとの対話実施	●経済人コー円卓会議日本委員会が運営する「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」に2021年度は3名参
サプライヤーによる人権侵害事案の把握	CSR調達アンケートによる実態把握	●2022年度CSR調達アンケート実施に向けた準備
自社経営に影響を及ぼす原材料ならびに納入先の特定	重要サプライヤーのリスト化	●リスト化を完了し、調査・確認スキームを検討中
当社グループ（協会社含む）の外国人従業員への対応	当社グループの外国人従業員の労働環境整備	●外国人雇用ガイドライン策定 ●当社グループの外国人従業員の雇用調査実施 ●人権デューデリジェンス実施に向けての検討開始
ダイバーシティ&インクルージョンの推進	【2027年度目標】 在宅・サテライト勤務者数、有給休暇取得率、女性採用比率、女性管理職数、配偶者出産休暇取得率、男性育児休業取得率、介護離職者数	1 在宅、サテライト勤務実施者数2,097名 2 年次有給休暇取得率73.1% 3 新卒時女性採用比率（営業管理・研究開発計）48.6% 4 女性管理職数52名 5 配偶者出産休暇取得率70.2% 6 男性育児休業取得率57.7% 7 介護離職者数1名 （2022年3月31日時点。（3）（4）のみ2022年4月1日時点）

供給

安全・安心を重視した原材料調達と製造を経て、高品質な商品を安定的にお届けします。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
原料リスクに応じた効率的なサプライヤーマネジメント	原料リスク等によりサプライヤーの管理レベルを評価する仕組みの強化	●国内外原料サプライヤー12工場の監査（コロナにより現地監査が出来ず、一部遅れあり） ●サプライヤーマネジメント全体のレビュー実施。
安全かつ高品質な商品提供のための体制づくり	FSSC22000を2020年度中に当社グループ全29工場※で取得 ※生産中止等の関係から、2020年10月、対象工場数を23に変更しました（変更前：29）	●認証工場数：24工場※（国内）（2022年3月31日時点） 2021年3月末に目標達成済み。 ※2020年10月以降、1工場FSSCを取得したため、最終実績が24工場に変更になりました。
主要原材料の供給リスク対応	主要原材料の複数社購買、地域分散購買	地域分散購買の取り組み推進中
	RSPO認証パーム油の使用拡大	●ブック&クリームへ100%切り替え達成済（2021年3月31日時点） ●マスバランスへの切り替えに取り組み中

2019-21中期経営計画のKPIと進捗

森永乳業

次世代育成

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
健康で豊かな生活の基礎力を獲得するための食文化や栄養を学ぶ場の提供（食育講座、キッズシアター）	2019年から3年間の延べ参加者数30万人	●2021年度までの延べ参加人数18.9万人。 ※2020年度は新型コロナウイルスの影響で、工場見学や森と食の探検隊などは中止。 ●工場見学、キャリア教育について、オンラインプログラムを開発、実施
自然の恵みと、それを活かす技術・研究を学ぶ場の提供（工場見学、森と食の探検隊、キャリア教育）		
次世代を育成する環境の整備	エンゼル110番での継続的な育児相談の実施。2020年度で延べ100万人の相談を受け付け	●相談受付延べ人数約99万人（2022年3月31日時点）

人財育成

「かがやく笑顔」を実現する人財の育成に力を入れていきます。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
経営理念の浸透	従業員公募型フォーラムの毎年開催	●経営理念の浸透は、従業員意識調査「活き活きサーベイ」実施と、サーベイ結果の各部門へのフィードバックを実施し浸透を図った。
ダイバーシティ推進による、従業員一人ひとりの自律的な成長促進	女性リーダー研修、仕事と子育ての両立を促す研修、プレマネジメント研修の継続的な実施と、若手従業員の人財部による面談実施	●オンライン型で研修・面談等を継続して実施
グローバルなビジネス環境で活躍できる人財の育成	グローバル人財育成プログラムの推進	●グローバル人財育成プログラム113名受講 ●海外トレーニング1名参加
健康経営の実践を通じた人財の育成	健康診断の「危険値に該当する者」の2次検診・再検査受診率の向上：80%（2023年） メンタルヘルス教育の受講率：100%（2023年）	●健康診断で危険値に該当する社員については、人事部門が100%把握し、必要なフォローを行い、疾病や発症の重症化を防いでいる。 ●メンタルヘルス教育の受講率は目標を達成したため、コロナ禍を踏まえ、健康に関する社員向けの研修（メンタルケアやハラスメント防止を含む）の実施を充実させた

コーポレート・ガバナンス

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

活動の方向性	2021年度までのKPI	KPIの実績（2021年度）
取締役会における、多様な価値観に基づいた、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定	取締役会評価における評価点およびコメントの内容（取締役会の多様性、審議内容）	独立社外取締役の取締役総数割合1/3（社内6名：社外3名。うち、女性（社外）1名）
マネジメント体制の強化	各種定例委員会（人事報酬委員会、内部統制委員会、サステナビリティ委員会）の充実	●各種定例委員会を予定通り実施し、建設的な議論を行った。 ●人事報酬委員会：委員会構成員の過半数を社外取締役に選定（社内2名、社外3名（うち、女性1名））。 ●サステナビリティ委員会：「気候変動対策部会」「プラスチック対策部会」「人権部会」を設置し、個別の課題に対して深耕した議論ができる場の設定を行った。